

製品名: BTF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07685**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	106kDa

抗原情報

遺伝子名	BCLAF1
別名	BCLAF1; BTF; KIAA0164; Bcl-2-associated transcription factor 1; Btf
遺伝子 ID	9774.0
SwissProt ID	Q9NYF8
免疫原	抗血清はヒト BCLAF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

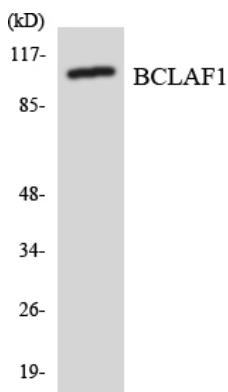
この遺伝子は、BCL2 ファミリータンパク質の複数のメンバーと相互作用する転写抑制因子をコードしています。このタンパク質の過剰発現はアポトーシスを誘導しますが、BCL2 タンパク質との共発現によって抑制することができます。このタンパク質は核全体に点

状の構造として局在し、アポトーシスを起こしている細胞では核膜近傍の領域に再分布します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 細胞死促進転写抑制因子,配列注意: 汚染配列。ポリ A 配列の可能性があり。サブユニット: Bcl-2 関連タンパク質、EMD、アデノウイルス E1B 19 kDa タンパク質、および DNA と相互作用します。組織特異性: 普遍的,

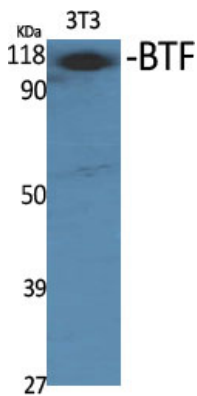
研究分野

-

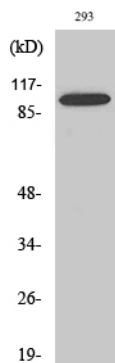
画像データ



BCLAF1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



BTf ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



BTf ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析